

3年生ともなると、もういろいろなお手伝いができるの
でしょうね。あうちの人はたすかりますね。すごいなあ。

構成
↑
「書き出しのくふう」
声、色、けしきなどで
書き始めよう!!

題材
「もし～だったら」
「実さいはちかうけれど」
頭の中で考えたこと、
想像したこと。

表現
「たとえ」
まるで～みたい、よう
にたものを使ってせつめい
してみよう。

主題
「自分だけが
思ったこと」
自分らしい、思ったこと
とくバツに自分だけが感じ
たこと

5.1週の
1つめの長文
を参考にしな
さんこう



たとえば

母「書き出し、あ、お願い。」
キュッ、キュッ。私はあぶろを...
「ほくがせんたくものをアリはは、

「もし、ほくがお母さんだったら、
夕飯は毎日カレーにします。」
もし、大人だったら、もっと～

まるでお母さんか作った
みたいにきれいにできます。
まるで新品のようにピカピカです。

お手伝いはめんどうくさいと
思うこともあるけれど、家ごと
かよるこんでくれるのでうれしいと
思いました。

お母さんって
タイム
たな。



↓
ほくにしかできないよ ↓ 妹(3才)にはまだムリ。

君の考えた書き出し
ビシクー。
「うわ、これたのにお母さん

もし、お手伝いのお
ットが1日
家 だったら

まるでケジゴムをなく
らせる作業
みたい

ずとゴジゴジ
している作業が
ゆるゆると
思いました。

・食事のかけつけ
あぶろそうじ

・新聞とり

・せんたくもの
たたみ

・料理

・兄弟のせわ



それはどんな場面か
こまごまなお母さんにの、か
って、ソースか、ベツと
りついている。

どうなると思う?
お母さんのやること
かたくな、ちやう
ど(たろう)と思います。

あうちの人に聞いたこと
「なんか、こゝまごま
取ネカはまて、ま
かたけと、いまは上手いよ

・次にしてみたいお手伝い
・とくいなお手伝いなどを
書くのもいいね。

おほめてもらったことは、あうちの人の小さいころのお手伝い

